

山城知佳子

映像作品上映会
会場【名護市立中央図書館AVホール】

2017
8/6 (日)



<第1部> 開場 13:00 開演 13:30
入場料 1,000円 中学生以上 1,000円 / 小学生 500円
未就学児無料 (上映中はお静かに)

《上映プログラム》『ノーラ・チッポムラ in 沖縄』(85分 / 2015年)
《トークショー》約30分

平成27年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業
JCDN 国際ダンス・イン・レジデンス・エクスチェンジ・プロジェクト VOL.5『ノーラ・チッポムラ in 沖縄』
主催：NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN)

ジンバブエと沖縄—遠く離れた2つの国は、どこか似たところがある。自然と先祖への信仰・神への祈り、過去と現在が同時に渦巻いている地・沖縄へ、一滞在制作の旅が始まる。

アフリカ・ジンバブエ出身で米国 N.Y. を拠点に、その活動が注目されている振付家・ダンサーのノーラ・チッポムラさん。ノーラは、アフリカの文化・美・歴史・差別・人種・女性などのテーマを、アフリカへの誇りを持つ自身の目と体で見つめ直そうとしている。黒人の体とは何か？表現するとは何なのか？人の生い立ちとは何か？を問い続け、ダンス作品制作に向き合っている。ジンバブエと沖縄—遠く離れた2つの国は、どこか似たところがある。共に支配された歴史があり、共に自然崇拝や芸能が生活の中に豊かな文化を育ててきた。2015年新緑の5月、初めて訪れた宮古・伊江・備瀬には、先祖への信仰・神への祈りが、ごく当たり前で日常的に存在し、過去と現在が同等に渦巻いていた。この美しく貴重なものを誰かが失くしたくない、と願う。ノーラという振付家の目には、今日の沖縄が—ここで生活している人々や芸能家・芸術家と出会うことで、何が見えてくるのだろうか。1ヶ月間の滞在制作の様子を山城知佳子の撮影したドキュメント映像でレポートする。

プログラム・ディレクター：水野立子

<上映会予約>
ちいさな絵本屋 Polaris TEL: 080-6485-3739



<第2部> 開場 16:00 開演 16:30
入場料 1,000円 中学生以上 1,000円 / 小学生 500円
未就学児無料 (上映中はお静かに)

《上映プログラム》
『あなたの声は私の喉を通った』(7分 / 2009年) 『沈む声、紅い息』(6分 / 2010年) 『肉屋の女』(27分 / 2012年) 『土の人』(23分 / 2016年)
《トークショー》約30分

- 1 《あなたの声は私の喉を通った》(7分 / 2009) 戦争を歴史の出来事として風化させるのではなく今につながることは可能か。サイパン玉砕の体験者の語りを自身が語り直す、他者の経験を想像することで戦争体験の「継承」を試みる。
- 2 《沈む声、紅い息》(6分 / 2010) 泡となって波間に揺れては消える歌声に声を傾けようと希求する心と、誰にも届けられまいという諦念。その両方を抱きしめて、作品はアンヴィヴァレントなまま、見る者に投げかけられている。
- 3 《肉屋の女》(27分 / 2012) 米軍基地敷地内の黙認耕作地に実在した 閩市で肉屋を営む女性、建設現場で働く人々、黙認浜や鍾乳洞を舞台にあらゆる帰属を超えた存在と「肉」の循環を描く。
- 4 《土の人》(23分 / 2016) 軍事基地のある沖縄と済州島を撮影場所に、架空の土地に生きる「土の人」を描く。空から降ってきた種から言葉を取り戻し、展開される物語は歴史や現状を暗喩しながらも、より俯瞰的な視点で未来を見据えている。

第一部・第二部 山城知佳子 (美術家・映像作家)
トークショー出演者 宮城一夫 (市場ギャラリースケッチ主宰)
田仲康嗣 (名護博物館スタッフ)
前田勇憲 (グラフィックデザイナー)

関連展覧会
「土の人」写像展
会場【ちいさな絵本屋 Polaris】

2017
7/22(土) ~ 8/5(土)

ちいさな絵本屋 Polaris にて、映像作品『土の人』より写像展を開催します。会期初日 22日 19時よりささやかなオープニングを行います。

ちいさな絵本屋 Polaris
TEL 080-6485-3739
住所：名護市屋部 37 番地

営業時間：10時~17時まで
休日：7/25(火)・7/26(水)
7/31(月)・8/2(水)